

丹波と都をつなぐ

令和8年

9月12日(土)～12月13日(日)

開館時間 午前9時～午後4時30分(10月27日～29日は、展示替えのため休室)

休館日 月曜日

入館料 一般400円／中学生以下無料／団体割引(30名以上)・1割引

※亀岡市文化資料館友の会会員、障がい者手帳をお持ちの方とその介護者の方は無料

※11月14日(土)・15日(日)は、関西文化の日のため無料

亀岡市文化資料館 展示室Ⅰ・Ⅱ

京都府亀岡市古世町中内坪1

角倉了以

素庵の挑戦



慶長11年(1606)、豪商・角倉了以とその子・素庵は、急流と巨岩が連なる保津峡を切り開き、船を通す新たな舟運を開きました。保津川開削から420年を迎える本展では、その壮大な挑戦を起点に、丹波と京都を結んだ水運の歴史をたどります。

船が通る前の保津川の姿、開削工事の背景、都を支えた亀岡・丹波の役割、そして現在の保津川下りへと受け継がれる舟運の技術まで、四つの章で紹介。人・もの・文化を運び続けた保津川の歴史を通して、丹波と都を結んできた人々の知恵と挑戦に迫ります。

[関連イベント]

保津川開削420年記念フォーラム

開催日時 | 令和8年9月19日(土)

13時30分～15時30分

開催場所 | ガレリアかめおか 2階 大広間

第一部 | 基調講演 若松正志さん

(京都産業大学 教授)

第二部 | 講演 豊田知八さん

(保津川遊船企業組合 代表理事)

第三部 | 質疑・対談セッション

司会進行 | 海平和さん(京都放送アナウンサー)

※事前申込不要・先着100人



1

[会期中のイベント]

苔テラリウムワークショップ

～保津川渓谷の風景をつくろう～

特別展を観覧した後、保津川の渓谷景観をイメージした苔テラリウムを制作します。

日時 | 令和8年11月14日(土)

①午前10時～正午

②午後1時30分～午後3時30分

場所 | 亀岡市文化資料館 3階 研修室

講師 | moss_station(モス ステーション)

対象 | 中学生以上

定員 | 各回10人

参加費 | 1,500円/人

申込方法 | webサイトから



2



3

学芸員による展示解説

10月24日(土)、11月14日(土)、12月12日(土)

いずれも午前10時～11時

※事前申込不要

連続講座

角倉了以・素庵についてさらに理解を深められる、全3回の連続講座を開催します。

※詳細はwebサイトから

角倉了以・素庵の足跡をたどる

フィールドワーク

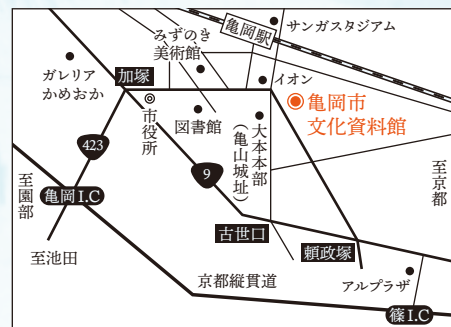
保津川下りに乗り、嵐山到着後、角倉家ゆかりの地を船頭さんと一緒に散策しましょう。

※詳細はwebサイトから

※各企画は亀岡市、角倉了以・素庵顕彰実行委員会の共催で実施

※苔テラリウムワークショップのみ moss_station(モス ステーション)・亀岡市の共催

※大丹波ドライブスタンプラリーで「伝統・文化・歴史景観スポット」として当館でスタンプを取得された方は入館料半額



亀岡市文化資料館

〒621-0815 京都府亀岡市古世町中内坪1
TEL 0771-22-0599 FAX 0771-25-6128
<https://museums.city.kameoka.kyoto.jp>

亀岡市文化資料館HP



表紙写真

上: 川中 丹波国保津ヨリ山城国嵯峨迄大井川筋絵図(京都府立京都学・歴史館所蔵)

下: 瑞泉寺縁起(瑞泉寺所蔵、京都市歴史資料館寄託)

